

せたがやジュニアオーケストラ講師が語る 知られざる楽器の魅力

#1 ファゴット(木管楽器)

ファゴットは音色に特徴がある楽器で、実はテレビの効果音にもよく使われています。例えば朝ドラや「ドラえもん」など。おそらくフレーズを聞けば、あつと思うでしょう。

主に低音で木管セクションを支える楽器ですが、一方でパツと目立つ旋律を吹いて曲の雰囲気を変えることができるのも、ファゴットの楽しいところです。タンギングすると少しおどけた印象にも。役者に例えると、主役ではないけれど重要人物も脇役もこなし、時には照明もやるような、色々な役ができる面白さがあります。名旋律はドニゼッティのオペラ『愛の妙薬』より「人知れぬ涙」。一般的に明るい旋律より、哀愁のある旋律が多いかもしれません。

習い始めのうちは音程が不安定になりやすく、子供たちには旋律を歌わせて、出したい音を明確にイメージさせています。英単語を覚えるのと一緒に。そんなファゴット奏者に多いのは、性格的に優しい人、裏

方に徹することができる人。演奏家の中には、別の楽器からファゴットに転向した人も数多くいます。

他の木管楽器との相性もよく、ファゴットが活躍できるアンサンブル曲は意外と多いんです。ヴィヴァルディはファゴットのための曲を、40曲近く作っています。ぜひファゴットの音色を味わってみてください。



教えてくれたのは

せたがやジュニアオーケストラ(SJO) ファゴット専任講師 松尾 純さん <http://www.s-j-o.jp/>
池辺晋一郎氏の提唱で発足したSJOは、専任講師が小学3年~高校3年までの団員を指導します。